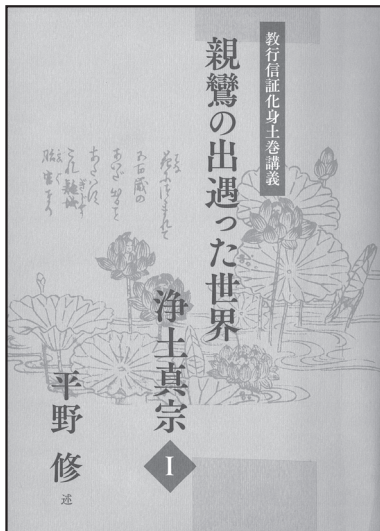


教化センターだより

No. 406

発行日 2021年4月1日
 発行 真宗大谷派大阪教区
 教化センター
 TEL 06-6251-0745
 FAX 06-4708-3278

◆新しく刊行された平野 修師の講義録◆



『教行信証化身土巻講義

親鸞の出遇った世界 - 浄土真宗 I』

〔述〕平野 修

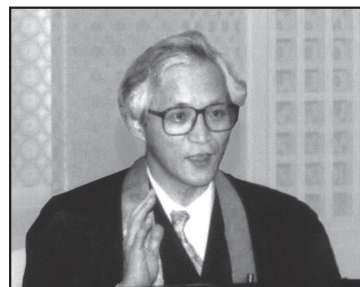
大阪教区教学研修院の基調講義として8年にわたり行われた「化身土巻講義」を全5巻にわけて収録予定。「化身土巻」の内容から、仏教の歴史、そして親鸞聖人のみ教えを徹底的に俯瞰し、私たち自身に問いを投げかける平野修師の思想の集大成ともいえる書です。
 (書籍案内より引用)

- ・頒布価格 2,300円 (教区内僧侶、門徒は2割引き) ・限定1000部
- ・A5 上製本 / 376ページ ・次号 (第2巻) 2021年秋発刊予定。
- ・お問い合わせは大阪教務所まで (TEL 06-6251-4720)

〔発行〕大阪教区教化委員会

◆御堂文庫に蔵書されている平野先生の著書◆

- | | |
|-----------------------|------------|
| ◇本願と意欲 大阪教区伝研の会 | ▷法蔵館 |
| ◇鬼神からの解放 (上・下) | ▷真宗大谷派難波別院 |
| ◇浄土往生の仏道 平野修講義集 (上・下) | ▷法蔵館 |
| ◇平野修選集 (1~17・別巻1~5) | ▷法蔵館 |
| ◇やさしさについて「生きるということ」 | ▷六道会 |
| ◇真宗の教化 | ▷文栄堂 |
| ◇真宗の教相 | ▷法蔵館 |
| ◇続真宗の教相 | ▷法蔵館 |
| ◇はじまりとしての真宗 | ▷法蔵館 |
| ◇教え・ことばの海をわたって | ▷仏青連盟常任委員 |
| ◇真宗を学ぶ | ▷愚禿の会 |
| ◇親鸞の信の深層 三願転入の文を読み解く | ▷法蔵館 |



平野 修 先生

＝経歴＝

1943年(昭和18)年、石川県に生まれる。大谷大学大学院博士課程を経て、1991年まで九州大谷短期大学教授。1995年9月還浄。

— 教化リーフレットの

「活用」について —

4枚の「教化リーフレット」は、各寺院・教会において「寺報」や個別に複写しての配布、同朋会や聞法会での教材として活用いただければ幸いです。

— 5月のリーフレット —

リーフレット①

「掲示板のよび」……安間朋子

「ただ信心を
要とするべし」

リーフレット②

「今月のよび」……松井 聡

「一生造悪値弘誓
至安養界証妙果」

リーフレット③

「もしもし相談」……澤田秀丸

「マナーの悪さに
イライラが募る」

リーフレット④

「仏典マンガ・仏さまのおことば」
『サーマラーの恋』

(敬称略)

ただ

信心を

要とすと

しるべし

『たん に しょう歎異抄』

昨年、初めての出産を経験しました。すくすくと成長している姿を見て、幸せを感じています。が、まだ一人では何もできないこの子を眺めていると、ある疑問が起ってききました。「この子も仏様のお救いにあずかっているのだろうか…」

親鸞聖人は、私たちが救われていく道は「ただ信心を要とする」と教えてください。老少善悪を問わず、阿弥陀様はすべての衆生を救うことを誓われました。私たちの信心が起るところ、そこに阿弥陀様のお悟りも完成されるのです。それでは、この子に信心はあるのでしょうか。言葉も発せない赤ちゃんに、何かを信じるといふことなどあるのでしょうか。

この子の信心について考える中で、私は自分の過去の体験を思い出しました。その時、私は真剣に死を覚悟しました。幸いにもお念仏のご縁を頂いて育った私ですが、自分に真実の信心があるなと思えません。しかし、その時にお念仏が出たのです。私の信心については何も確かなことは言えません。この時この声を起こさせた心は、確かに私に頂いたものだと感じるのです。

我が子に信心があるかと考えるのは、どこまでも私の思いです。信心とは思いを超えたところで出遇うものなのだと思います。この子にもきっとお念仏の声は響いているに違いありません。

(安問 朋子)

今月のことば

一生造悪値弘誓
至安養界証妙果

一生悪を造れども、弘誓に値いぬれば、安養界に至りて妙果を証せしむと、いえり。

「一」で大事なことは、「一生造悪」ということでしょう。一生悪を造るのは誰のことか。これは言うまでもなく、私たち人間のことを指しています。人間は、犯罪や道徳的な悪だけではなく、人として生まれた限り必ず悪を造り続ける存在です。

仏教でいう「十悪」の中に、口に關係する悪として、妄語・綺語・悪口・両舌があります。他人の悪口を言ったり、事

実と違うことを言ったり、嘘を言うことも歴つきとした悪であります。

ネットの動画サイトで「嘘つきナビバーワンを決めるコンテスト」という番組を見ました。一番の嘘をついた者が優勝です。その優勝者がついた嘘が「私は生まれてから一度も嘘をついたことが無い」でした。

私たちは知らず知らずのうちに、悪を造りながら生活をしているのです。それが一生続くのです。

『教行信証』の「行巻」に伊蘭と梅檀の喩えが出ています。広大な森林に伊蘭という悪臭を放つ植

物が一面に生い茂っています。その花や実は猛毒で、食べると発狂して死んでしまします。そこに一本の梅檀という、香料になる樹が芽吹き成長するとき、たちまちに森林を白檀の香りに変えてしまふのです。伊蘭の林を諸悪に喩え、そこに梅檀が芽吹くことを、お念仏の信心が開くことに喩えているのです。

伊蘭の林の外側ではなく、内側でなければ梅檀は開きません。つまり思い通りにならない、苦惱多きこの娑婆世界の真只中に居てこそ、念仏申さんと思い立つ心が起こってくるのです。だから伊蘭の林は却って私を目覚めさせる功德になるのです。

後の源信僧都は「極重悪人」という厳しい言い方をされます。他の方便は全くない、助かる道はお念仏しかない、と申されます。

道綽禪師も同じで、一生造悪の身の自覚の上妙果を証するのがお念仏であります。

『歎異抄』の第一章で「悪をもおそるべからず、弥陀の本願をさまたぐるほどの悪なきがゆえに」とあります。弥陀の弘誓に出遇えば、善悪の分別は愚かなこと。みな共にお念仏申して行きましよう。

(松井 聰)

今月のことば出典 『正信偈』

『真宗聖典』

206頁

『真宗大谷派 勤行集』(赤本)

25頁

もしもし相談



マナーの悪さに
イライラが募り…

問

最近、電車の中などで、周りも気にせず大きな声で話をしたり、子どもを好き放題にさせるなど、目に余る行為が増えているように感じます。妻から昔とは価値観が違うから優しく見守りましょうと言われるのですが、イライラが募るばかりです。どうしたら優しく寛容になれるのでしょうか。

(66歳・男性)

答

私も同じようなことを経験しました。電車の中で、ずーっと携帯で話をしている若い女性がありました。批判と抗議を

込めた私の目と合っても、知らん顔で会話を続けていました。どうしてマナーを守れないのか、と内心憤慨しました。

その時、三つのことを考えました。

一つは、他人の前や他人の中にいる時は立派なことを言ったり、立ち振る舞ってはいるけれども、わが身の上ではどうだろうか、と二つ二つチェックしてみるとあやふやな事が多く、どうも自信がなくなってきました。

二つは、この女性と私の思考の立つ位置が違っているのではないかと、ということでした。貴方の「質問の言葉でいえば「昔とは価値観が違う」ということです。

現代の教育の基本は、一人一人が考えを持ち、それを表現し行動することにあります。ならば一人一人の立つ位置・価値観は、たとえ私の思想に合わなくてもまず認めることが基本となります。

自分の価値観に他人を引き込むのではなく、他人の価値観を受け入れ優しく温かく見ていくことの大切さもあるのではないでしょうか。

三つは、そしたら電車の中で何をしてもいいのか、という厳しい問いが出るだろうと思います。やはり「私の一辺は他人の一辺である」かぎり守らねばならないマナーがあります。もし注意をする時は、わが正義感に立って

怖い顔で叱ったり、高飛車に言うのではなく、悲心の言葉を掛けることが大切だと思いました。

貴方のご質問を通して、もう一つ考えを深めておきたいことは、一人一人が思想を持ち、立つ位置がはっきりすることで一人の人間が確立するのですが、思想は、必ず分断、対立、排除、闘争を生みます。この思想の持つ危ぶみ、問題に気づくことが大切だと思います。わが考えは正しい、間違っていないと理論武装すればするほど問題が深まっていきます。これを仏教では「迷理の惑(煩惱)」としめされていきます。

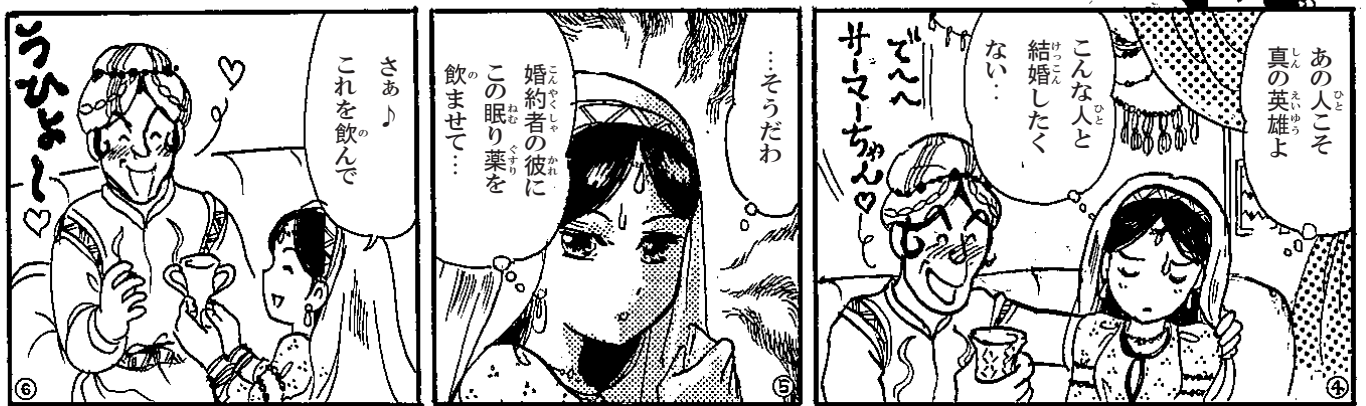
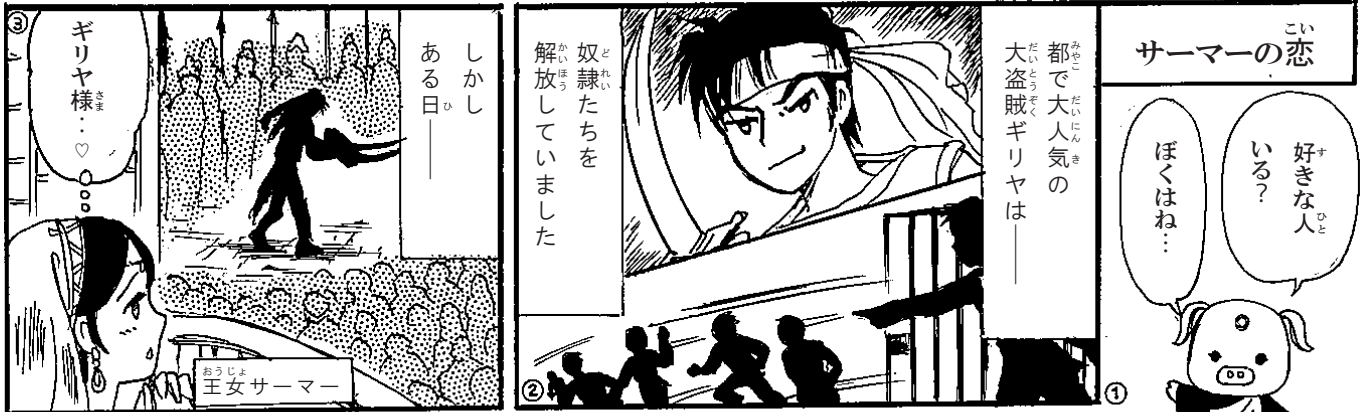
(澤田 秀丸)



仏典マンガ・仏さまのおしえ



絵：小川ゆきえ <190>



参考・『ジャータカ物語』

『ジャータカ』は、仏陀の過去生の物語集。パーリ語聖典では、22編547話からなっています。多くの経典の中に引用されて、経典の広がりとともに、世界各地に伝えられました。(ジャータカ 318)